

阿部太平、鈴木喜太、大平睦四郎、大平陸三郎、監查役ニ阿部太平、白井一郎、鈴木辰三郎、鈴木喜太、己達ノ縁取縁役ニ愚目

太平佳四郎

00000000000000000000000000000000

默鐘

銘酒「白山」釀造元
如き言葉を弄する事自体が抑
抑俺としては面白くないこと
だか「植田警察署の高等の不
用意な言葉を憎まざるを得な

鐵道省を胡魔化した二十萬圓

紙上に報導されたが、粗悪で炭價も低廉な内郷坑の石しめてドシ／＼坑外に搬出して炭を町田坑の石炭だと偽稱して鐵道を胡魔化したのである、鐵容を検討する

一、☐ 二、☐ 三、☐ 四、☐ 五、☐ 六、☐ 七、☐ 八、☐ 九、☐ 十、☐

炭礦方面には特殊な關係を結

[Faint vertical text, likely bleed-through from the reverse side]

ものが一増色濃く流布され
ものである、友人として斯

石城郡川部村

だが、植田警察署の高等の
用意な言葉を憎まざるを得

利益金處分

內財產減價銷却

後期繰越金

石之通り二候也
昭和二年十二月卅一
直日水三氣

岡高小
岡高小

同業
古川

(昭和二年下半期)

貸借對照表

資產部

有價證券
二六、五〇〇
弗金
五、三三

未經過保險料	三三七
受取手形及未收入金	三三九

假受金	八四五一
社債及借入金	一、〇〇五、〇〇〇

支拂手形及未拂金	四、八三
未拂配當金	五九
當期利益金	一八、八六
計	六、二六、二五五

諸稅金引當 二,〇〇〇

諸積立金	五、五〇〇
株主配當金年一割二分	七五、〇〇〇
役員賞與金	四、五〇〇

和力電氣會社

同	同	同	同	取	取締役	取締役長	金五郎
古川	小林	高岡	白井	安島			
傳	唯一	博	重三				

風雨不侵

拾期
營業報告

拂込資本金 三、五〇、〇〇〇・〇〇

路屋內工作物	五八、六三、五
城器具貯藏品及土地建物	六七、三八〇、三
價證券	二六、五〇〇、〇
拂金	五八、三三、六

電所勘定 一六、一六・五

負債之部	計	六、二七、二五、三
本 金		五、〇〇〇、〇〇〇、〇
積立金		二四、五五、〇〇

期利益金	二八、八六・二
------	---------

利益金處分	二六、八六・二
期利益金	一〇、〇〇〇・〇
財產減價銷却	一、〇〇〇・〇
賣及別子川蓄	一、〇〇〇・〇

七五〇〇〇	役員賞與金
四五〇〇〇	

俊期繰越金 三、四八、六六
 之通り二候也
 和二年十二月卅一日
 水三三式

高岡唯一郎

古川傳一

普通選舉斷行されてより乾坤一擲最初の總選舉は、將に吾れらの目前に放り出された。今回の普選こそ大衆の意志が奈邊にあるか、然して既成政黨をして眞に排撃するの氣運がどの程度まで流れてゐるか、既成政黨に慊足らずとするも比較的大衆の信望を繋ぐ政黨は何れにあるか、これらは大衆の意志として議會に反映するの時機が到來した。大衆よ、有權者よ、吾らは、吾らの自由である選舉權を誤らざる眞正な判斷の下に最も吾らの代辯者として信する者に行使しよふではないか、然り既成政黨にして比較的大衆の輿論に一致しそして、味方たるものは立憲民政黨公認候補者でありこれに所屬する候補者である。

解散の報一度報せられるや、各非公認として打つて出づ可く準
政黨は斷行された最初の普選た
けに何れも緊張し
候補者を推薦決定する
爲めに熟議これを急いでゐるが
石城民政黨から公認れずとも
平町田町に齒科醫を開業し豫備
歩兵大尉として在郷軍人と深い
縁故關係も深く、令兄は現在
潔氏がある、氏は平舊藩士にし
備を急いでゐる者に辯護士佐川

配當一割二分を決議
第三、四發電所を計畫

植田水力電気株式會社は創立以分の配當を行ひ得る好成績を示來逐年向上發展し、四時川電気工業會社と合併現在五百萬圓の所に竣工せる第二發電大資本を擁しての消化するに至らば將來一段の

てゐる。去る十四日午前十時よ社現在の發電所は第一發電所四
り第十六期株主總會を開き昭和千キロ。第二發電所二千キロを

二年度下半年利益金處分案を附有し日立電力、磐炭、小田、大議決定したが、今期は、從來曾日本其他大小炭礦にて遭遇せざりし財界の不況に直供給してゐるが、目下

關係もあり、末弟淳氏は京都市の青木家に養子となつてゐるが兄弟三人共磐中出身であり従つて磐中同窓とも關係があるから相當の勢力を把持する事は疑ひを挾まざる所である。而して同氏は帝大卒業後大阪に

辯護士を 開業以來詞地法曹界に手腕を振ひ、彼の天下の耳目を聳動した松島遊廊事件を摘發して、腐敗したる政黨の裏面を完膚なきまでに天下に曝露せしめた怪男子である。崇高なる人格を有し政治的識見亦何人も譲らざる手腕家であり、人物であるから、一度本縣第三區の逐鹿場に出馬すれば必ずや敵黨を以て

顔色なか らしむる事は必定である。

各派の候補者

情勢とりく

▲第三區の定員三名の所へ既に

出馬の意志あるもの七名と數へられ本縣下中最も猛烈を豫想されてゐるが其情勢を一瞥すると

▲民政黨公認候補者たる比佐昌平氏は何んと言つても相當以上の勢力を持續する事は一点の疑を挾む餘地なしとするも、非公認として起つ佐川潔氏の運動方法巧妙を極むる場合或は絶對安心を許さぬ情勢にある。

▲佐川氏は縁故關係可成りに深く、又氏の人格を慕ふ所から政黨政派を超越して隠れたる應援者もあるから他の候補者を凌駕する勢力を張るであらう。

▲石城政友會は木村清治、金成通氏何れにか決定するであらうが、結局金成氏に決定を見る可く、氏の力量手腕から當選疑はない。

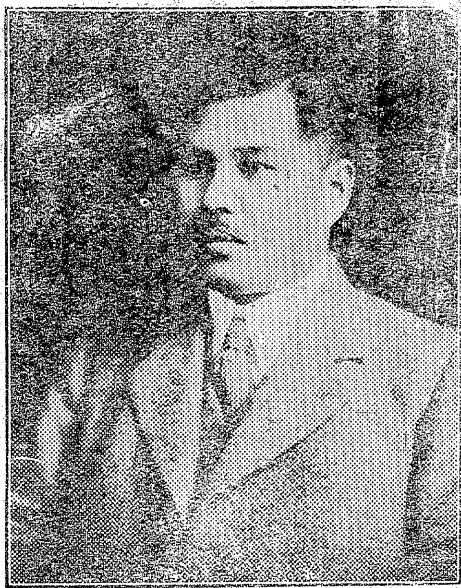
▲本郡を中心にして荒川精二氏出馬の意志あり準備を急いでゐるが、政友會はこれを公認する

▲本郡を中心にして荒川精三氏
出馬の意志あり準備を急いでる
るが、政友會はこれを公認する

を稱へる事は容易であらう、目に介する必要が無いといふ意氣
下同社の電氣料値下運動を起しを示してゐる。

四五萬圓に僅少過る

……木村清治氏談



金成通氏は同社組織計畫以來ほとん

金高に於て減じた

平町農商係の調査による本年度の米實收額は前年の二千三百五十石に比し八十一石の増收を示した事になつてゐるが、其金額

便利な貯蓄方法

都便局では愈々二月一日か
特別取集の貯金の取扱を開始
福島縣石城郡赤井村

鑛業所

事になつたので此の宣傳に
たが、取集貯金は一口二圓以
し毎月一回宛期間は二年、
五年、十年に分けて其間
に置く方法、從來の團體取
る金より一層範圍を廣く個人
に指定された場所に局員が出張
立する極めて便利な貯金方法
である。

號(竹翠)

二萬近くの私財を投じてゐ

小名濱

100

與借對照表

資 產 之 部
拂込未済資本金 三五一、五〇〇 円

昭和二年十一月卅日現在

貸借対照表

途積立金 二九四
途積立金 六七〇

未拂配當金	六、〇〇〇、〇〇〇	四、九〇九
社借入金	九五、〇〇〇	
仕拂手形	五五二、八五九	

100

前期繰越金	七三、九八〇	前期繰越金	七三、九八〇
当期利益金	四二、五八〇	当期利益金	四二、五八〇
合計	二〇、五三三、四〇〇	合計	二〇、五三三、四〇〇
資産	三、七六六、〇〇〇	資産	三、七六六、〇〇〇
負債	六五〇、五八〇	負債	六五〇、五八〇
拂込未済株金	一、二四六、〇〇〇	拂込未済株金	一、二四六、〇〇〇
地所	三、七六六、〇〇〇	地所	三、七六六、〇〇〇
建物	三、七六六、〇〇〇	建物	三、七六六、〇〇〇
機械及器具	二九、九一〇	機械及器具	二九、九一〇
軌道	九三、〇〇〇	軌道	九三、〇〇〇
什器	一八、四八〇	什器	一八、四八〇
探石部勘定		探石部勘定	

期総収入金 三、九六五

當期總支出金	三、五三、七〇〇
差引	
當期利益金	四二、五六

期線越金

石之通相違無之候也

不

株式會社

「金成氏の功勞に對する慰勞金の贈呈は遲きに失する。」むし

前期繰越金 七、三九八・三三
合計 四四八、九八六・八八

有 限 責 任

小 名 濱 信 用

小 名 濱

山田村

助役
秋山藏之助

から候補者を擧げるには其人物

見當らず、運動費捻出方法も就かぬから輸入候補を擧げる途も無から結局中立候補の懸案下

るより外無く何れにしても廿九日選舉對策委員會を開き決定を見るであらう。

▲重役賞與金三千圓▲後期繰
越金は三萬二千九百六十四圓

である。此れを以つて見ても同行の營業狀態の如何に良績であるかが肯れる。

山野邊藥局で

三才藥の發賣
偉効に驚く

を商是とする山野邊藥局は本紙
廣告欄の如き鼻の藥で蓄膿症其

他、偉効ある「チクノール錠」
時の高級内服薬として好評ある
「ダイサン錠」肺病肋膜炎の特効

樂「スーパー錠」等の三大最新薬の代理店として特約販賣を開始

してゐるが、病患に悩む人々から好評を得てゐるが説明書入用の方は同薬局へ申込まれないで

第六期決算報告	
貸借對照表	
資產之部	負債之部
拂込未済資本金 三三二,五〇〇	資本 五〇〇,〇〇〇
諸貸付金 八八,七三三	預積立金 六六,七〇〇
割引手形 三九,五八〇	諸預り金 六四一,四四五
荷付爲替手形 七,六八〇	他店ヨリ借 一九九三
他店へ貸 七,三三三	諸借入金 一八七,五三六
與羽銀行同盟會基本金 五〇,〇〇〇	未拂配當金 六五,〇〇〇
諸有價證券 二二,五〇〇	未拂利息及未經過割引料 一五,七六五
貸付有價證券 一,八四〇	第二種所得稅及資本利子稅 四〇七
營業用土地建物什器 二〇,四三三	當期純益金 二〇,四三三
所有動產不動產 四三,五二一	計 一,四五五,九六六
現金 四三,八三三	一、當期純益金 二〇,四三三
合計 一,四五五,九六六	諸積立金 二〇,〇〇〇
一負債之部	役員賞與金 九〇〇
資本 五〇〇,〇〇〇	株主配當金(年七分五厘) 五五二
預積立金 六六,七〇〇	後期繰越金 二,〇〇一
諸預り金 六四一,四四五	右之通り二候也
他店ヨリ借 一九九三	昭和三年壹月拾四日
諸借入金 一八七,五三六	福島縣植田町
未拂配當金 六五,〇〇〇	株式會社 磐東銀行
未拂利息及未經過割引料 一五,七六五	取締役頭取 江尻 博
第二種所得稅及資本利子稅 四〇七	專務取締役 金成 欽
當期純益金 二〇,四三三	取締役 安島 重三郎
計 一,四五五,九六六	取締役 岡山 保次郎
一、當期純益金 二〇,四三三	監查役 古川 傳
諸積立金 二〇,〇〇〇	監查役 山野邊 文雄
役員賞與金 九〇〇	監查役 改選ノ件ハ岡山保次郎
株主配當金(年七分五厘) 五五二	再選、古川傳一再選、金成欽
後期繰越金 二,〇〇一	次取締役ヲ辭任シ新ニ常任監
右之通り二候也	查役ニ當選致シ候
昭和三年壹月拾四日	
福島縣植田町	
株式會社 磐東銀行	
取締役頭取 江尻 博	
專務取締役 金成 欽	
取締役 安島 重三郎	
取締役 岡山 保次郎	
監查役 古川 傳	
監查役 山野邊 文雄	
監查役 改選ノ件ハ岡山保次郎	
再選、古川傳一再選、金成欽	
次取締役ヲ辭任シ新ニ常任監	
查役ニ當選致シ候	

三六八七〇〇〇五七六三六二四九三三八

岩崎清七	岡田萬次	高野百行	伊藤利兵衛	吉永仁藏	安部政次郎	根津嘉太郎	織田孝三	鈴木田峯	山田肇	右監査役處相違無之候也	監査役佐田利兵衛	監査役高岡治	監査役木村唯一郎	監査役泉山岩次郎	大橋新太郎
取締役社長	常務取締役	常務取締役	取締役	取締役	取締役	取締役	取締役	取締役	取締役	支配人	監査役	監査役	監査役	監査役	相談役

磐城セメント株式會社

有 限 責 任

小名濱信用

小 名 濱 廣

役員及僱用人退職慰勞基金	一五〇〇〇・〇〇
役員賞與金	二五〇〇〇・〇〇
株主配當金(年八分)	二九一五〇・〇〇
後期繰越金	七、四六六・八八
右之通相違無之候也	

昭和二年十一月卅日

中學、放送大學をも完全に聴
取し得る生存上缺く可からざ
る、必需品であります此處に
於て中村先生の考案嶄新なる
無比の逸品是非愛好諸彦の御
被聴に浴し一般に普及の目的
を以て左記の處へ創業開店い
たしました同卒舊に倍し御聲
援を賜り度く偏に願います
追而準備中なれば來る二月
一日より開店致します

平町南町一六

原野ラヂオ商會

電話呼四五五番

各位

三五六六三六五七六八
謹告

小生兼而日東商會ラデオ部主
任として任職中は多大なる御
聲援に預り厚く御禮申上ます
切而今回ラデオ界の急務を考
ひる今二月十五日迄を以て辭
任し本年三月仙臺放送局建設
と相俟て名聲高いラデオの眞
獻者中村先生と提携致し從來
娛樂の感あつた既設セツトに
一大改善を加え然も調節容易
にして雜音無くラデオの本旨
たる肉聲と混信分離を主眼と
して苦心成功した當商會の無
線電話機は斯界の權威を遺憾
なく掌握して現今の多事多端
な國情のニース文明の魁とし
て今春早より實施する放送

[illegible]

役員及、使用人退職慰勞基金
 役員賞與金 一五、〇〇〇・〇〇
 株主配當金（年八分） 二五、〇〇〇・〇〇
 後期繰越金 二九、五〇〇・〇〇
 右之通相違無之候也 五、四六六・八八
 昭和二年十一月卅日

●良品廉賣に勝る商略なし!!!

磐城セメント會社特約店

和洋銅鐵
釜屋商店
金物問屋

●確實敏捷は●の生命なり!!!

平町 宇田町

高久病院

電話五二三番

院長 醫學士 高久 忠
副院長 新潟醫學士 赤羽 清
藥局長 藥劑士 佐竹 菊雄
●第二病室増設—入院隨時

内科 小兒科 (入院應需)

花柳病科 藤沼醫院

平町 紺屋町
電話平四〇七番

平町 搔搔小路

山野邊義政法律事務所

電話六二五番

漆器の御用なら

平町 一丁目

和久井屋漆器店

電話四〇五番

肺結核、肺炎加答兒、肋膜炎の優秀藥が始めて出來ました
特効 新案 不バ錠 十一日分 七圓 卅三日分 廿圓

幾多の實驗者が立證せる効果は
一、熱は日に増し下る、一、咳嗽及痰がなくなる、一、食慾が增進する、一、盗汗がなくなる、一、呼吸困難が樂になる、一、安眠が出来る、一、肋膜炎は水が取れる

縣下代理店 平町 宇田町
山野邊藥局

秋山清太郎 久保木榮作

株式 平銀行

第六拾參期營業報告

貸借對照表

資本金 五〇〇,〇〇〇
拂込未済資本金 五〇〇,〇〇〇
貸付及貸越金 四三三,九四八・八〇
割引及積爲替手形 一五〇,六六七・〇〇

他店へ貸 一〇一,六六六・四〇
有價證券及諸株式 七六,七六六・五〇
動産不動産 二七,四九八・六〇
現金有高 二四,五八八・〇〇

負債之部 計六,四六六・一〇〇
資本 一,五〇〇,〇〇〇
諸積立金 五〇〇,〇〇〇

諸預り金 三,九四九・〇〇
他店より借 一七,六六六・六〇
借入金 一〇〇,〇〇〇
預金利息 一〇〇,〇〇〇

未拂配當金 一〇〇,〇〇〇
未拂利息及未経過割引料 一〇〇,〇〇〇
当期純益金 八六,六四四・〇〇

合 計六,四六六・一〇〇
利益金勘定
金八萬六千六百九拾四圓也

之レラ處分スルノト左ノ如シ
金貳萬參千圓 諸積立金
金貳萬參千圓 重役賞與金

金貳萬八千貳百圓也
金參萬貳千四百九拾四圓也
後期繰越金

右之通りニ候也
昭和參年壹月

株式 平銀行

專務取締役 山崎 與三郎
常務取締役 堀江 正治
取締役 堀江 正治

取締役 堀江 正治
取締役 堀江 正治
取締役 堀江 正治

取締役 堀江 正治
取締役 堀江 正治
取締役 堀江 正治

取締役 堀江 正治
取締役 堀江 正治
取締役 堀江 正治

取締役 堀江 正治
取締役 堀江 正治
取締役 堀江 正治

取締役 堀江 正治
取締役 堀江 正治
取締役 堀江 正治

第六十營業報告

昭和二年十二月卅一日現在

貸借對照表

資本金 五〇〇,〇〇〇
拂込未済資本金 五〇〇,〇〇〇
貸付及貸越金 四三三,九四八・八〇

割引及積爲替手形 一五〇,六六七・〇〇
他店へ貸 一〇一,六六六・四〇
有價證券及諸株式 七六,七六六・五〇

動産不動産 二七,四九八・六〇
現金有高 二四,五八八・〇〇
負債之部 計六,四六六・一〇〇

資本 一,五〇〇,〇〇〇
諸積立金 五〇〇,〇〇〇
諸預り金 三,九四九・〇〇

他店より借 一七,六六六・六〇
借入金 一〇〇,〇〇〇
預金利息 一〇〇,〇〇〇

未拂配當金 一〇〇,〇〇〇
未拂利息及未経過割引料 一〇〇,〇〇〇
当期純益金 八六,六四四・〇〇

合 計六,四六六・一〇〇
利益金勘定
金八萬六千六百九拾四圓也

之レラ處分スルノト左ノ如シ
金貳萬參千圓 諸積立金
金貳萬參千圓 重役賞與金

金貳萬八千貳百圓也
金參萬貳千四百九拾四圓也
後期繰越金

右之通りニ候也
昭和三年一月廿二日

株式 磐城銀行

專務取締役 山崎 與三郎
常務取締役 堀江 正治
取締役 堀江 正治

取締役 堀江 正治
取締役 堀江 正治
取締役 堀江 正治

取締役 堀江 正治
取締役 堀江 正治
取締役 堀江 正治

取締役 堀江 正治
取締役 堀江 正治
取締役 堀江 正治

取締役 堀江 正治
取締役 堀江 正治
取締役 堀江 正治

株式 磐城銀行

昭和二年十二月卅一日現在

貸借對照表

資本金 五〇〇,〇〇〇
拂込未済資本金 五〇〇,〇〇〇
貸付及貸越金 四三三,九四八・八〇

割引及積爲替手形 一五〇,六六七・〇〇
他店へ貸 一〇一,六六六・四〇
有價證券及諸株式 七六,七六六・五〇

動産不動産 二七,四九八・六〇
現金有高 二四,五八八・〇〇
負債之部 計六,四六六・一〇〇

資本 一,五〇〇,〇〇〇
諸積立金 五〇〇,〇〇〇
諸預り金 三,九四九・〇〇

他店より借 一七,六六六・六〇
借入金 一〇〇,〇〇〇
預金利息 一〇〇,〇〇〇

未拂配當金 一〇〇,〇〇〇
未拂利息及未経過割引料 一〇〇,〇〇〇
当期純益金 八六,六四四・〇〇

合 計六,四六六・一〇〇
利益金勘定
金八萬六千六百九拾四圓也

之レラ處分スルノト左ノ如シ
金貳萬參千圓 諸積立金
金貳萬參千圓 重役賞與金

金貳萬八千貳百圓也
金參萬貳千四百九拾四圓也
後期繰越金

右之通りニ候也
昭和三年一月廿二日

株式 磐城銀行

專務取締役 山崎 與三郎
常務取締役 堀江 正治
取締役 堀江 正治

取締役 堀江 正治
取締役 堀江 正治
取締役 堀江 正治

取締役 堀江 正治
取締役 堀江 正治
取締役 堀江 正治

取締役 堀江 正治
取締役 堀江 正治
取締役 堀江 正治

取締役 堀江 正治
取締役 堀江 正治
取締役 堀江 正治

第六十營業報告

昭和二年十二月卅一日現在

貸借對照表

資本金 五〇〇,〇〇〇
拂込未済資本金 五〇〇,〇〇〇
貸付及貸越金 四三三,九四八・八〇

割引及積爲替手形 一五〇,六六七・〇〇
他店へ貸 一〇一,六六六・四〇
有價證券及諸株式 七六,七六六・五〇

動産不動産 二七,四九八・六〇
現金有高 二四,五八八・〇〇
負債之部 計六,四六六・一〇〇

資本 一,五〇〇,〇〇〇
諸積立金 五〇〇,〇〇〇
諸預り金 三,九四九・〇〇

他店より借 一七,六六六・六〇
借入金 一〇〇,〇〇〇
預金利息 一〇〇,〇〇〇

未拂配當金 一〇〇,〇〇〇
未拂利息及未経過割引料 一〇〇,〇〇〇
当期純益金 八六,六四四・〇〇

合 計六,四六六・一〇〇
利益金勘定
金八萬六千六百九拾四圓也

之レラ處分スルノト左ノ如シ
金貳萬參千圓 諸積立金
金貳萬參千圓 重役賞與金

金貳萬八千貳百圓也
金參萬貳千四百九拾四圓也
後期繰越金

右之通りニ候也
昭和二年十二月卅一日

株式 磐城建物株式會社

專務取締役 山崎 與三郎
常務取締役 堀江 正治
取締役 堀江 正治

取締役 堀江 正治
取締役 堀江 正治
取締役 堀江 正治

取締役 堀江 正治
取締役 堀江 正治
取締役 堀江 正治

取締役 堀江 正治
取締役 堀江 正治
取締役 堀江 正治

取締役 堀江 正治
取締役 堀江 正治
取締役 堀江 正治

株式 磐城銀行

昭和二年十二月卅一日現在

貸借對照表

資本金 五〇〇,〇〇〇
拂込未済資本金 五〇〇,〇〇〇
貸付及貸越金 四三三,九四八・八〇

割引及積爲替手形 一五〇,六六七・〇〇
他店へ貸 一〇一,六六六・四〇
有價證券及諸株式 七六,七六六・五〇

動産不動産 二七,四九八・六〇
現金有高 二四,五八八・〇〇
負債之部 計六,四六六・一〇〇

資本 一,五〇〇,〇〇〇
諸積立金 五〇〇,〇〇〇
諸預り金 三,九四九・〇〇

他店より借 一七,六六六・六〇
借入金 一〇〇,〇〇〇
預金利息 一〇〇,〇〇〇

未拂配當金 一〇〇,〇〇〇
未拂利息及未経過割引料 一〇〇,〇〇〇
当期純益金 八六,六四四・〇〇

合 計六,四六六・一〇〇
利益金勘定
金八萬六千六百九拾四圓也

之レラ處分スルノト左ノ如シ
金貳萬參千圓 諸積立金
金貳萬參千圓 重役賞與金

金貳萬八千貳百圓也
金參萬貳千四百九拾四圓也
後期繰越金

右之通りニ候也
昭和三年一月

株式 磐城銀行

專務取締役 山崎 與三郎
常務取締役 堀江 正治
取締役 堀江 正治

取締役 堀江 正治
取締役 堀江 正治
取締役 堀江 正治

取締役 堀江 正治
取締役 堀江 正治
取締役 堀江 正治

取締役 堀江 正治
取締役 堀江 正治
取締役 堀江 正治

取締役 堀江 正治
取締役 堀江 正治
取締役 堀江 正治

第六十營業報告

昭和二年十二月卅一日現在

貸借對照表

資本金 五〇〇,〇〇〇
拂込未済資本金 五〇〇,〇〇〇
貸付及貸越金 四三三,九四八・八〇

割引及積爲替手形 一五〇,六六七・〇〇
他店へ貸 一〇一,六六六・四〇
有價證券及諸株式 七六,七六六・五〇

動産不動産 二七,四九八・六〇
現金有高 二四,五八八・〇〇
負債之部 計六,四六六・一〇〇

資本 一,五〇〇,〇〇〇
諸積立金 五〇〇,〇〇〇
諸預り金 三,九四九・〇〇

他店より借 一七,六六六・六〇
借入金 一〇〇,〇〇〇
預金利息 一〇〇,〇〇〇

未拂配當金 一〇〇,〇〇〇
未拂利息及未経過割引料 一〇〇,〇〇〇
当期純益金 八六,六四四・〇〇

合 計六,四六六・一〇〇
利益金勘定
金八萬六千六百九拾四圓也

之レラ處分スルノト左ノ如シ
金貳萬參千圓 諸積立金
金貳萬參千圓 重役賞與金

金貳萬八千貳百圓也
金參萬貳千四百九拾四圓也
後期繰越金

右之通りニ候也
昭和三年一月

株式 磐城銀行

專務取締役 山崎 與三郎
常務取締役 堀江 正治
取締役 堀江 正治

取締役 堀江 正治
取締役 堀江 正治
取締役 堀江 正治

取締役 堀江 正治
取締役 堀江 正治
取締役 堀江 正治

取締役 堀江 正治
取締役 堀江 正治
取締役 堀江 正治

取締役 堀江 正治
取締役 堀江 正治
取締役 堀江 正治